Tajima

追尾受光器
セット

レーザーライン墨出し器

追尾センサー
矩十字・横全周/10m/IP

Tajima TUIBI SENSOR KANEJUJI・YOKOZENSHU MODEL:TSL-T4Y3J10IP

取扱説明書

品番:TSL-T4Y3J10IP（追尾受光器セット）

お買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。
本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守を
していただくようお願い致します。
お読みになった後は、後日必要になることがありますので、

必ず保存してください。

※ご使用が可能な受光器
・追尾レーザーレシーバー
（品番:TL-RCV）
・センサーレーザーレシーバー
（品番:SL-RCV）

※追尾レーザーレシーバーの取扱
説明書も併せてお読みください。

本機を正しく使うためのご注意

安全にお使い頂くための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に

表示の説明

⚠警告	誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。
⚠注意	誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について	🚫してはいけないことを示す「禁止」表示です。 ❗必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

⚠安全上のご注意

本機はレーザー光を出射します。レーザー安全基準（JIS　C6802）のクラス2に準拠しており、取扱いに関してはレーザー安全管理者を設ける必要がありません。しかし、以下に記載する内容には十分に注意してご使用ください。

⚠警告

🚫禁止

■レーザー光を直接のぞかないでください

■レーザー光を他の人に向けないでください

■幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください

レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

❗強制

■ACアダプターは、必ずAC100Vを使用してください

AC100V以外を使用しますと発熱、発火の原因となり危険です。

⚠注意

🚫禁止

■絶対に分解や改造をしないでください

本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。

❗強制

■使用しない場合は乾電池を取り出してください

乾電池より液が漏れ出すことがあり危険です。故障の原因となります。

❗強制

■使用しない場合はACアダプターをコンセントから抜いてください

発熱して、故障・感電・火災の原因となることがあり危険です。

🚫禁止

■乾電池を火の中に捨てたり、充電をして使用しないでください

乾電池より液が漏れ出すことがあり危険です。故障の原因となります。

従い正しく使用してください。

⚠使用上のご注意

安心してお使いいただくためのポイント

■使用前使用後には、必ず精度確認をしてください

取扱説明書の簡易精度チェックの方法通りに、使用前使用後に必ず精度確認を行ってください。精度確認を怠ると、故障による誤測定の原因になります。

詳しくは14ページ「精度の確認」をご覧ください。

■強いショックを与えないでください

本機を倒したり、落としたりしないでください。また、故意にゆらしたり振動を与えないでください。故障の原因となります。

■濡れたままお使いにならないでください

本機は防塵・防水性能（IP54）となっています。しかし、雨中での使用や、出射窓が濡れたり、汚れていると誤測定の原因となります。必ず、水滴・ほこりを拭き取ってからご使用ください。

■本機は−5℃〜40℃の範囲でご使用してください

指定範囲外の温度で使用すると故障および誤測定の原因となる場合があります。

■受光器はタジマセンサータイプ墨出し器専用受光器をご使用ください

追尾レーザーレシーバー（品番:TL-RCV）、センサーレーザーレシーバー（品番:SL-RCV）以外の受光器では精度を保証できません。絶対に使用しないでください。

■本体を移動する際は、スイッチをOFFにしてください

スイッチはOFFと同時に本体内部がロックされます。故障の原因になりますので、スイッチをONのまま移動しないでください。

本機を正しく使うためのご注意

安全にお使い頂くための重要な内容です。全てをよくお読みの上、指示に

⚠使用上のご注意

■故障したまま、本機をお使いにならないでください

すぐに使用を中止して、販売店に修理をご依頼ください。
詳しくは18ページ「故障かなと思ったら」をご覧ください。

■運搬する場合は、専用のキャリングケースに入れてください

ケース収納時も強いショックや振動をあたえないでください。車での移動の場合は、助手席のシートの上に置き、動かないように固定してください。また、修理など荷物として送る場合は輸送用外函に入れてお送りください。

■カバーガラス、リモコン受光窓について

出射窓のカバーガラス、リモコン受光窓には指を触れないでください。破損や誤測定の原因になります。

■追尾・リモコン使用時には、レーザー墨出し器と受光器の間を遮断、遮蔽しないでください

必要な送受信情報が伝わらず、誤作動の原因となります。

■機器本体を三脚に取り付ける際は、確実に固定されていることを確認してください

不確実だと機器が落下して、ケガをしたり本体が破損する恐れがあります。

■急激に温度が変化するような状況での使用は避けてください

暖房をつけた直後、直射日光下で窓を締切った車内から出した直後等、急激な温度変化が起こる状況での使用は避けてください。精度を狂わせる要因となるだけでなく、結露等が引き起こす部品破損の原因ともなります。
墨出し器本体部のDCジャックのゴムカバーを外し、1時間程度置いてからご使用ください。

■専用ACアダプター（品番:SL-ADP）以外は使用しないでください

本体の破壊や部品の劣化に繋がります。別売のACアダプター（品番:KYR-ADP）もご使用になれません。

■ACアダプターを引っ張ったりしないでください

本体が倒れたり、ケーブルが断線する等の破損に繋がります。

■ACアダプターは、屋外では使用しないでください

水滴などにより故障の原因になります。

■ACアダプター使用中は追尾リモコン／リモコン機構をお使いにならないでください

ケーブルが本体に巻きつき、誤作動を起こす場合があります。

■墨出し器本体電池交換時、ACアダプター使用時について

新しい乾電池に交換した直後、または、ACアダプターを取付けた直後一回目のスイッチON時は、センサーの初期設定時間が付加され制御完了までの時間が若干延びます。二回目以降は通常動作時間で制御致します。

⚠管理上のご注意

■次のような場所には置かないでください

●直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
●ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
●磁気を帯びたところ　●振動の多いところ

■高温下での保管について

本機には、十分な寿命を持つ半導体レーザー（以下LD）を使用しておりますが、高温下での使用は、LDの寿命を短くしてしまいます。また、夏場の自動車内での放置などで本機が著しく高温になってしまった場合は、十分に外気で冷却してからご使用ください。

■結露について

寒いとき、暖房をつけた直後など、本機内部に露（水滴）がつき、作動しないことがあります。結露などが確認されましたら、電源を入れない状態でそのまま数時間放置して頂き、その後電源を入れれば正常に作動します。何時間たっても作動しない場合は、メンテナンスセンターにご相談ください。

■お手入れについて

●カバーガラスが汚れると、ライン光が暗くなります。又、リモコン受光窓が汚れると操作への反応が悪くなります。その場合、市販のレンズクリーナーできれいに拭き取ってください。
●本体の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
●雨がかかったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

■保管について

●必ず専用のキャリングケースに入れて保管してください。
●キャリングケースの掛金・ベルトが傷んでいたら本体を収納しないでください。ケースや本体が落下してケガをする恐れがあります。

特　徴

■墨出し器本体と追尾受光器の組み合わせにより、縦ラインの地墨合わせが容易にできます。

■リモコン機能により墨出し器本体部を離れた位置より回転させることが可能です。

■高感度の水準センサーの採用とマイコン制御方式により、精密な水準出しが可能です。

■縦ラインがそれぞれ90°方向に4本の出射が可能ですので、前後左右方向への通り出し、矩出しが一度にできます。（直角精度:90°±0.012°）

■下部ポイントと上部の90°矩ラインで、鉛直ポイント出しが可能です。

■360°水平ラインにより全方位のレベル出しが容易にできます。また専用のエレベーター三脚に取り付けると、水平ラインの高さを自由に調節することができます。
※本機は直接三脚（5/8インチネジ）に取り付け可能です。

■本機は防塵・防水仕様となっていますので、屋外での作業にもご使用いただけます。
※ACアダプターを使用する場合、墨出し器本体の接合部分は防塵・防水仕様ではありません。
※濡れたままご使用になると、誤測定の原因となります。

■下部ポイントと回転微調整機能により、手動でも縦ラインの精密な地墨合わせができます。

■自動制御中は、制御ランプ（緑）が点灯することにより、誤った測量を防ぎます。

■自動補正範囲（±2°）を超えた場合は、全レーザーが消灯しますので、誤った測量を防ぎます。

■電源はアルカリ乾電池の他に、付属のACアダプターが使用可能※です。
※墨出し器本体部のみご使用になれます。

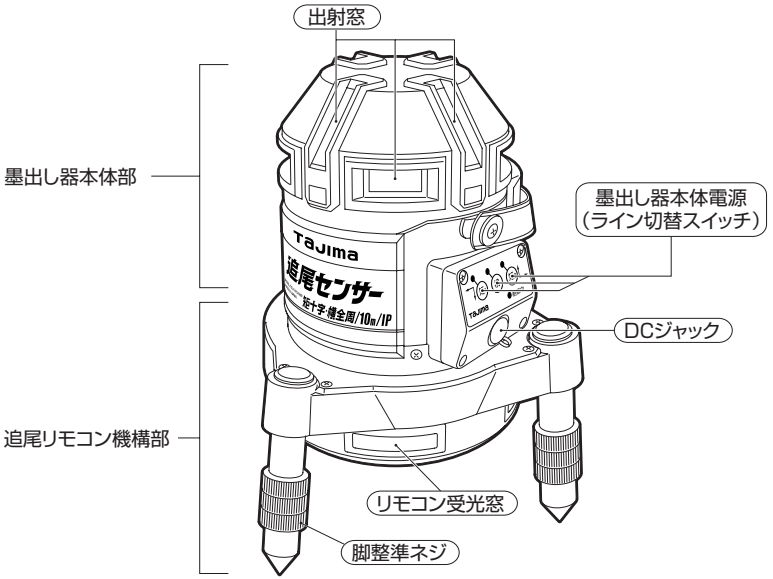
免責事項

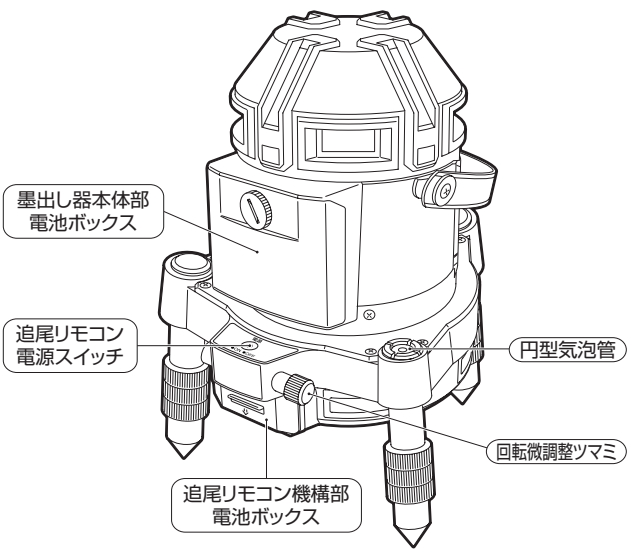
●取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

●本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害（事業の利益の損失・事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。

●火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

各部の名称

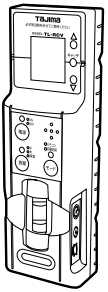

出射窓
墨出し器本体部
墨出し器本体電源
（ライン切替スイッチ）
Tajima
追尾センサー
DCジャック
追尾リモコン機構部
リモコン受光窓
脚整準ネジ


墨出し器本体部
電池ボックス
追尾リモコン
電源スイッチ
円型気泡管
回転微調整ツマミ
追尾リモコン機構部
電池ボックス

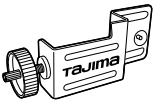
付属品

❶専用受光器
追尾レーザーレシーバー
（品番:TL-RCV）

自動追尾・リモコン機能を使用する際や受光器として明るい場所でレーザー光が見えにくい時、半径20mまでの広い場所で作業をしたい場合に便利です。
※詳しくは追尾レーザーレシーバーの取扱説明書をよくお読みください。



❸受光器ホルダー
（品番:LA-JHOLDER）
レーザーレシーバーをスタッフや柱などに固定する場合に使用します。

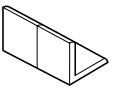


❹レーザーゴーグル
（品番:LA-GOGB）
明るい場所でレーザー光が見にくい時に、レーザーゴーグルを通して見ると見やすくなります。

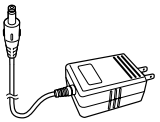
※目を保護するものではありません。
※暗い場所での使用には適しません。

❷追尾レーザーレシーバー用ケース
ベルトホルダー付きの専用ケースです。受光器を携帯する時に便利です。

❺ターゲット〈2個〉
地墨ラインにレーザー光が合わせにくい時に、地墨ライン上に置いて使用します。



❻専用ACアダプター
（品番:SL-ADP）
※墨出し器本体用



❼単3形アルカリ乾電池〈8本〉
※墨出し器本体部用
※追尾／リモコン機構部用

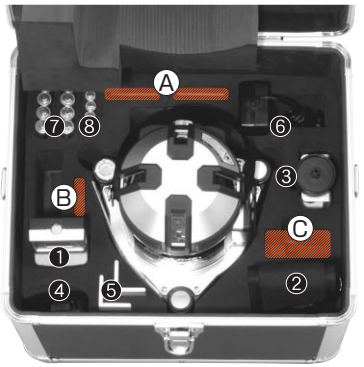
❽単4形アルカリ乾電池〈4本〉
※受光器用

❾専用キャリングケース

◆専用キャリングケースについて

ご購入時は右図の収納状態となっています。空いたスペース（斜線部）には予備電池や別売のアクセサリーが収納いただけます。

〈追加収納可能な電池・アクセサリー〉
Ⓐ単3形アルカリ乾電池（8本）
Ⓑ単4形アルカリ乾電池（4本）
Ⓒ受光器ホルダー（品番:LA-JHOLDER）



仕　様

■品　　名：追尾センサー
矩十字・横全周/10m/IP
（追尾受光器セット）
品番：TSL-T4Y3J10IP

■出射光光源：可視光半導体レーザー
■光　出　力：1mW以下（クラス2）
■波　　長：ライン/635nm
下部ポイント/650nm
■縦ライン精度：10mで±1mm
■水平ライン精度：10mで±1mm
■前後左右通り精度：10mで±1mm
■直角精度：90°±0.012°
■鉛直点精度：5mで±1mm
■自動補正範囲：±2°
■制動方式：電子二軸センサー方式
■防塵・防水：保護等級IP54
（防じん形・防まつ形）

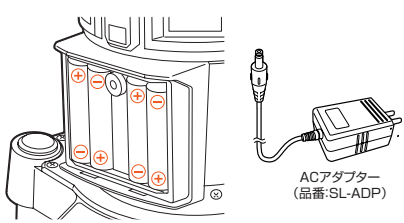
■使用温度：−5℃〜40℃
■追尾リモコン・リモコン使用可能距離・範囲：（水平方向）1m〜15m以内※1
（高さ方向）−1.8m〜3m以内※1
（※1→p.13参照）
■連続使用時間：（単3アルカリ乾電池4本使用時）
〈墨出し器本体部〉フルライン使用時　約6時間
〈追尾・リモコン機構部〉600回以上※2
※2使用条件・使用方法により異なります。
■電池寿命警告：
〈墨出し器本体部〉　レーザー光点滅
〈追尾・リモコン機構部〉電源スイッチLED点滅
■外形寸法：高さ260mm×幅203mm
■重　　量：本体約2,900g（電池含む）
キャリングケース収納時約6,300g
■各縦ライン出射角：140°
■水平ライン出射角：360°
■各ライン幅：10mで約3mm
■微調整範囲（手動時）：10m先で±290mm

※改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

使用方法／墨出し器本体部

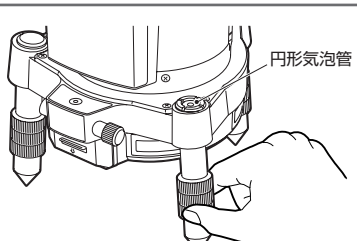
1 お使いになる前に、本体電池ボックスに単3形アルカリ乾電池を4本正しく入れてください。
又は、ACアダプターをDCジャックに差し込み、AC100Vの電源をお取りください。

※AC100V電源は墨出し器本体部のみご使用可能です。
※別売のACアダプター（品番:KYR-ADP）はご使用になれません。



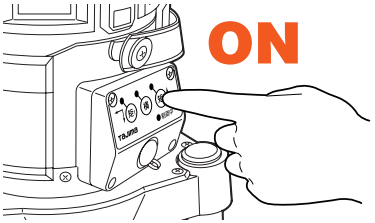
2 本機を水平にします。円型気泡管の気泡が赤い円の中心に来るように脚整準ネジを回して調整します。

本体が±2°以上傾いている場合は、補正範囲外のためレーザーは自動的に消灯します。



3 本体部側面のいずれかのスイッチをONにしてください。制御が開始されレーザー光が出射されます。制御中は、制御中ランプ（緑）が点灯します。

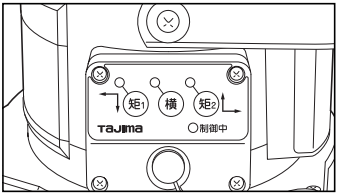
⚠警告	■レーザー光を直接のぞかないでください。 ■レーザー光を他の人に向けないでください。 レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。



電池残量が少ない場合は、レーザー光が20秒間点滅後、自動的にOFFになります。この場合、電池の寿命ですのでアルカリ乾電池4本を同時に交換してください。

---

4 出射ラインの切り替えは、各スイッチに対応しています。

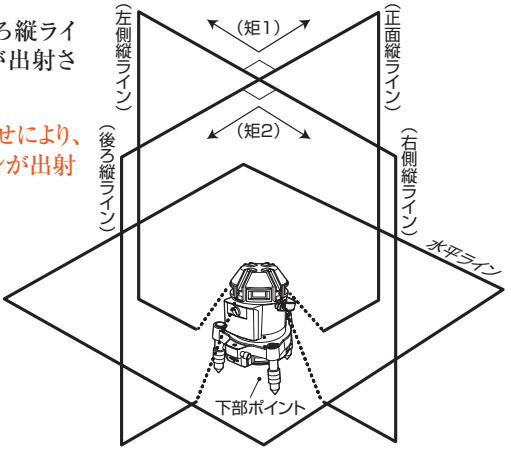


矩1 正面縦ライン、左側縦ラインと下部ポイントが出射されます。

横 水平ラインが出射されます。

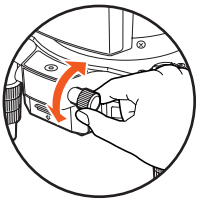
矩2 右側縦ライン、後ろ縦ラインと下部ポイントが出射されます。

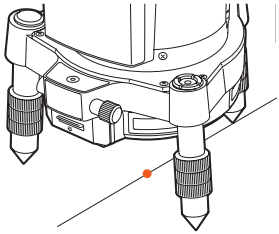
この2つのラインの組み合わせにより、前後左右方向への通りラインが出射されます。



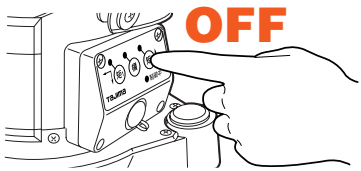
5 矩1、矩2 の各ラインを使用する場合、下部ポイントを地墨に合わせるように本機を設置してください。本体を回転させ、地墨に縦ラインを合わせます。

※手動でご使用になる場合、回転微調整機能をお使い頂くと、より簡単に合わせられます。





6 使用後は必ず全てのスイッチを切ってケースに戻してください。



ライン固定モード

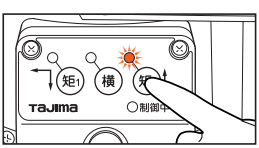
⚠注意

■ライン固定モードを使用すると、ラインの垂直・水平は制御されません。
レーザーラインの自動補正後にライン固定モードを設定しても、微振動などで正しい水準を維持しているとは限りません。正しい垂直・水平基準ラインを使用する場合は、必ずライン固定モードをOFFにしてご使用ください。

レーザーラインを固定して使用することが可能です。ライン固定モードでは、本体を傾けても自動制御せずにそのままレーザーラインを出射します。自動補正範囲以上傾けても消灯しません。
任意の2点間にレーザーラインを出射したい時などにご使用頂けます。

<ライン固定モードON>
各ライン出射スイッチを長押し（5秒以上）することでライン固定モードになります。
各ライン出射スイッチに対応したレーザーラインが固定モードで出射されます。
ライン固定モードになると、ライン出射スイッチのLEDランプ（赤）が点滅します。

※ライン固定モード使用時、続けて他のラインを出射すると固定モードのままラインが出射されます。
※各ラインごとに個別に固定することはできません。



<ライン固定モードOFF>
全ての出射スイッチをOFFにすることにより、ライン固定モードを解除できます。

受光器の使用方法については追尾レーザーレシーバー（品番:TL-RCV）の取扱説明書をお読みください。

使用方法／追尾・リモコン機構部

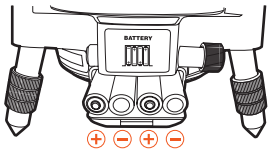
⚠注意

■追尾・リモコン操作中は、受光窓やリモコン送信窓を遮断、遮蔽しないでください。
誤作動を起こす原因となります。

■追尾動作を連続して繰り返した場合、自動的に初期設定動作※を行う場合があります。
内部モーターの制御範囲を超えたため、再度初期設定動作を行っています。動作終了後通常にご使用いただけます。

■ACアダプター使用中は追尾リモコン／リモコン機構をお使いにならないでください。
ケーブルが本体に巻きつき、誤作動を起こす場合があります。

1 追尾リモコン機構部の電池ボックスに単3形アルカリ乾電池を4本正しく入れてください。



2 電源スイッチをONにしてください。
スイッチ部のLEDが点灯します。

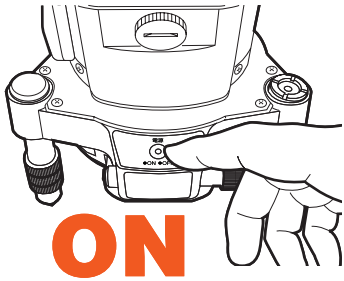
※初期設定動作について

電源スイッチON直後、約10秒間の初期設定動作に入り、墨出し器本体部が左右に動きます。

初期設定動作中は、

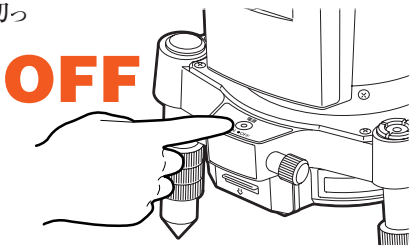
●墨出し器本体部を回転させたり、ストラップを持って移動したりしないでください。故障の原因となります。

●追尾リモコン／リモコンの動作を受付けません。初期設定動作終了後に、リモコン操作を行ってください。



電池残量が無くなると、追尾受光の操作に反応しなくなり、スイッチ部LEDが点滅します。
60秒点滅後自動的にOFFになります。
この場合、電池寿命ですのでアルカリ乾電池4本を同時に交換してください。

3 使用後は必ず全てのスイッチを切ってケースに戻してください。



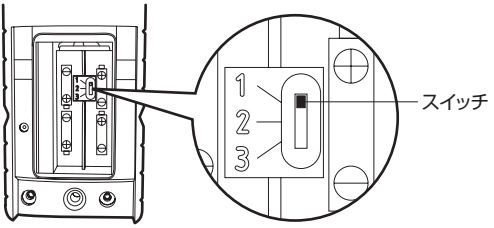
追尾リモコン／リモコンの操作方法および受光器の使用方法については、
「追尾レーザーレシーバー（品番:TL-RCV）」の取扱説明書をお読みください。

チャンネル切替

同じ作業現場に“タジマ追尾レーザー”が2台以上ある場合、他の受光器の信号を受信して誤動作をしてしまう可能性があります。
“追尾レーザー”が2台以上ある場合、受光器の電池ボックス内にあるチャンネル切替スイッチを各々別に設定してご使用ください。（チャンネル1～3）

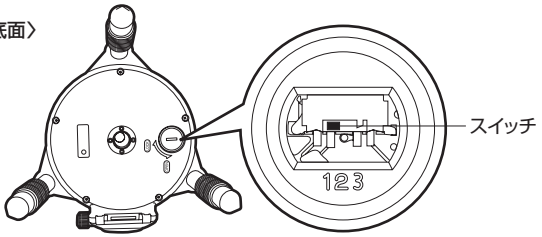
※ご購入時はチャンネル1に設定されています。

〈受光器電池ボックス〉



※墨出し器も受光器と同じチャンネルに合わせることが必要です。
製品底面の、スイッチカバーネジを取り外し、
受光器側のチャンネルに合わせて、スイッチ位置を変更する。
先端の細い釘などをご使用いただくと便利です。

〈本体底面〉



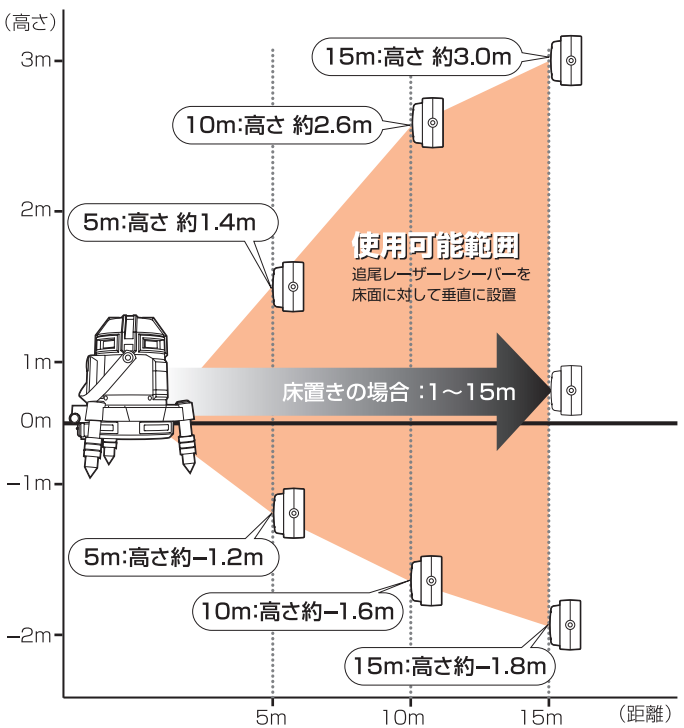
追尾リモコンの使用可能な距離・範囲

⚠注意	屋外のご使用時、特にリモコン受光窓に直射日光が入る場合など、距離が著しく短くなる場合があります。

■追尾リモコン使用可能距離・範囲：（水平方向）1m～15m以内※
（高さ方向）－1.8m～3m以内※

追尾レーザーレシーバーとの組み合わせにより、墨出し器本体の自動追尾機構を使用して、自動的に縦ラインの地墨合わせができます。
（→操作方法：追尾レーザーレシーバー取扱説明書p7.～p.8参照）

※追尾リモコンの使用可能な距離・範囲は、測定位置・作業環境により異なります。下図は屋内ご使用時での目安となる使用範囲です。

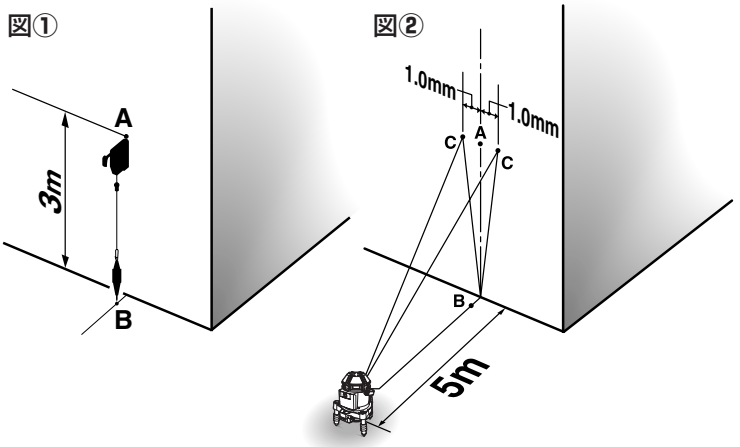


精度の確認

本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。
使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

⚠警告	■レーザー光を直接のぞかないでください。 ■レーザー光を他の人に向けないでください。 レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

〈縦ライン精度の確認〉



1) 風の影響の少ない既設の建造物の壁を選び、高所3mのポイント1ヵ所をマーキングし、ここをポイントAとします。

2) ポイントAから下げ振りを吊した床面のポイントをBとしてマーキングします。（図①参照）

3) この壁面のポイントBより5m離れた位置に、本機を設置し整準します。

4) 電源スイッチ（矩1）もしくは（矩2）をONにし、レーザー光をポイントBに合わせます。

5) そのままの状態で、ポイントAの位置のレーザー光の位置をポイントCとします。ポイントAとポイントCとの差が1.0mm以内であれば正常です。（図②参照）

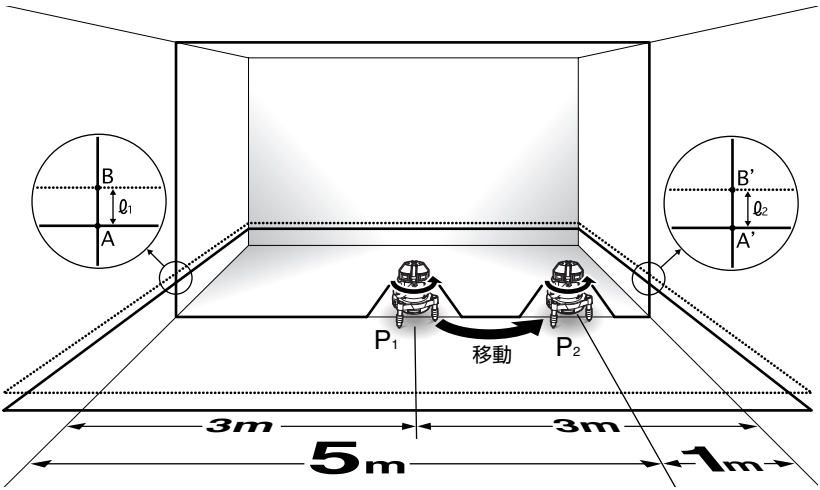
6) 他の3本の縦ラインについても同様にご確認ください。

精度の確認

本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。
使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

⚠警告	■レーザー光を直接のぞかないでください。 ■レーザー光を他の人に向けないでください。 レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

〈水平ライン精度の確認〉



1) 4箇所の水平出射窓の中から、測定する1箇所を決定します。

2) 約6m離れた壁（又は柱）の中央P_1に本機を設置し、電源スイッチ（横）（矩1）（矩2）をONにします。

3) 1）で決定した窓より壁面に出射した水平ラインと縦ラインの交差する箇所をマーキングし、本機を反転して同様にマーキングします。これをA、A′とします。

4) 本機をどちらか一方の壁より約1mの位置P_2に設置し、縦ラインをA、A′に合わせます。その縦ラインに交差する水平ラインにマーキングします。これをB、B′とします。

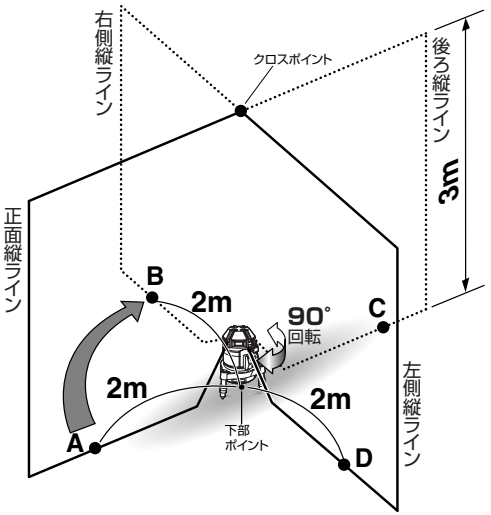
5) 2）と3）で記したA、BおよびA′、B′の間隔ℓ_1、ℓ_2を測定し、ℓ_1とℓ_2の差が1.0mm以内であれば正常です。（図参照）

6) 他の3箇所の出射窓の水平ラインについても同様にご確認ください。

本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。
使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

⚠警告	■レーザー光を直接のぞかないでください。 ■レーザー光を他の人に向けないでください。 レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

〈矩精度の確認〉



1) 本機を天井高さ約3mの部屋に設置し、矩1 矩2 ラインを出射します。

2) 正面縦ライン及び各縦ラインの下部ポイントから各2mの位置に印を付けます。
（正面縦ラインの点をA、以下順にB、C、Dとします）

3) 本体を回転させ正面縦ラインをB点に合うようにします。この時、A点、C点、D点と各縦ラインの差が1.0mm以内であれば正常です。

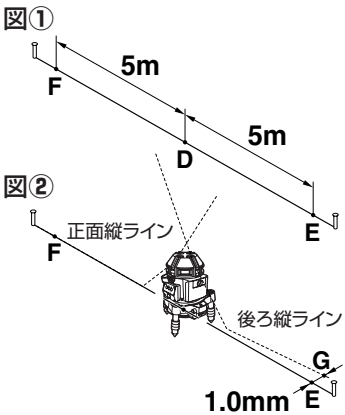
精度の確認

本機を使用する前、使用した後に、必ず下記の方法で精度確認をしてください。
使用前使用後の精度確認により、故障による誤作業を防ぎます。

⚠警告

■レーザー光を直接のぞかないでください。
■レーザー光を他の人に向けないでください。
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。

〈前後左右通り精度の確認〉



1）床が平坦な場所を選び、長さ約11mの水糸を床にピンと張ります。

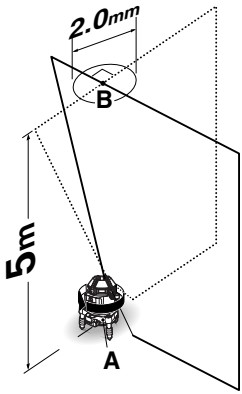
2）水糸の中央のポイントをDとし、そこより両側5mのポイントを2カ所マーキングし、ここを各ポイントE、Fとします。（図①参照）

3）電源スイッチ 矩1 矩2 をONにし、ポイントDに下部ポイント、ポイントFに正面縦ラインが合うように本機を設置します。

4）そのままの状態で、ポイントEと後ろ縦ラインとの差が1.0mm以内であれば正常です。（図②参照）

5）左右の縦ラインについても同様にご確認ください。

〈鉛直クロスポイント精度の確認〉



1）本機を天井高さ約5mの部屋に設置し、矩1もしくは矩2ラインを出射します。

2）下部ポイントと上部クロスポイントをマーキングします。これを各A、Bとします。

3）本機を回転させて止めた所で、A点にポイントを合わせます。その時B点と回転後の点との差が2.0mm以内であれば正常です。

故障かなと思ったら

故障かな？

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	ユーザー確認
ライン光が出ない ➡	乾電池は消耗していないか・入れ方は正しいか ACアダプターが外れていないか 本体は十分に水平か（精度補正範囲外）
ライン光が暗い ➡	カバーガラスは汚れていないか
衝撃を与えた場合 ➡	「精度の確認」をご覧ください
レーザー光の点滅 ➡	新しい電池と取り替えてください
追尾リモコン機構部が回転しない ➡	電源スイッチがONになっているか 乾電池は消耗していないか 入れ方は正しいか
レーザーレシーバーが反応しない ➡	レーザーレシーバーの乾電池は消耗していないか レーザーレシーバーの乾電池の入れ方は正しいか

上記の方法で、解決できない場合は故障です。
「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は

修理をご依頼される前に、上記の「故障かな？」を見て故障かどうかを確認してください。

1）「保証書」の有無をご確認ください。

購入時にご記入、保管いただきました「保証書・盗難保険加入申込書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。

2）本機と「保証書」をキャリングケース及び運送用外函に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、タジマQ便サービスをご利用ください。

保　証

○同封してあります「保証書・盗難保険加入申込書」記載の保証規定をよくお読みください。

○運送用ケースに付随する包装材は、修理の際に製品の保護のために必要となりますので、大切に保管してください。

■当製品は精密電子部品を使用しています。
外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。
お取扱いおよび保管には充分に注意してください。
尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

（タジマレーザー製品の修理、タジマQ便サービスについてのお問い合わせは）

タジマメンテナンスセンター
0120-470282
フリーFAX.**0120-243324**

〈受付時間〉
月曜日～金曜日（祝日を除く） 8:40～18:00

（取扱い方法などのお問い合わせは）
0120-933297

〈受付時間〉
月曜日～金曜日 9:00～19:00
土･日･祝日 9:00～18:00

株式会社 TJM デザイン
本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3 **0120-933297**
ホームページ http://www.tajimatool.co.jp

SE0602500